街かど

短歌

黒埼短歌会

白つめ草一面に咲くグランドに
少女の日々の校庭偲ぶ　泉井ヨ子

薫風に凧の競えば航空の兵たり
し夫空見つめおり　竹中千代子

こぼれ米あさりて寄り来る五六
羽の雀はずみてとべばうれしげ　阿部淨子

小学校四年の孫の湯上りの娘ら
しきに半ば恐るる　大矢キイ

二十才にて逝きし弟の五十回忌
若かりし生のあまりに悲し　永田キヨエ

衝きあたるかすかな音に命一つフ
ロントガラスに砕け散りたり　丸山幸

胎内のダムの放水落つる滝もよ
う織りなし白絹の如　大谷モト

足を止め見上ぐる空にまんまる
い十五夜らしき月残りたり　長谷川トリ

力限り大凧挙ぐる若きらの底ご
もり鳴る響き聞こゆ　小出美喜子

細き手にわきくる力ありありと
夫の車椅子押して坂越ゆ　柴垣きみ

襁褓より育みて来し孫二人学童
リレーを今走り継ぐ　金内セツ

雨に濡れ紫陽花の藍鮮やかに広
葉張りつつ禀と茎立つ　上山恵子

いくばくの日銭を得んとたばこ
の芽摘みに出稼ぐ畑に雉子鳴く　笠原セツ

今月の投稿

♥募集しています
・短歌・俳句
・詩・随筆
・イラスト・写真
・マンガ・その他
♥町への意見や要望も受け付けます
♥匿名でもよいですが連絡先を忘れずに
♥投稿・連絡先は
黒埼町大野２８４３-1
広報「街かど」係
☎377-3101
（内線３３５）

俳句

黒埼俳句会

早苗田の畦に真赤な耕運機　きよえ

烏賊釣火いつか相寄り沖焦す　けんじ

緑蔭に張り板しごとせし昔　孝子

山荘の主の奢り泥鰌鍋　智恵子

百段を数へて下る草いきれ　富代

枇杷熟るる潮騒遠き地にありて　トシ子

せせらぎの涼しさに建つ古刹かな　敏郎

再検査思ひに余る青田の夜　秀子

台風は室戸の沖に熱帯夜　文雄

皺めだつ老ひの手に受く桃二つ　みよし

五十年の思ひ出たどり夏野行く　みどり

新幹線花咲く蓮の上をゆく　代香

風に割れ紅ほのかなる古代蓮　義男

字といふ村なつかしき茄子の花　律子

彌彦まで一望まさに大青田　一翠

境内にもず穴多し大夏木　きい

草丈の伸びし線路や夏の蝶　信子

話切れ膝のハンカチもて遊ぶ　玲子

遠目にも青柿少し見えて来し　水仙

風鈴のチリンチリンとよく鳴る日　成子

風にのり桃売りの声遠くより　洋子

ガス燈の小樽振り出し夏の旅　友佳

蝉取りの子供に庭を明け渡し　舞子

頼まれて厭とも言へず水の番　飛浪

迫ひつきし安堵の汗を拭ひけり　素明

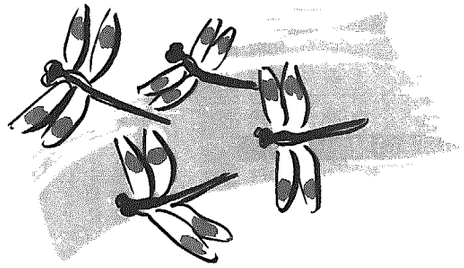
山緑の家並外れの観音堂　鈴木ハツ

目とび出しだるまの絵巻夏座敷　小林ミサヲ

カタカナの昔パラソルいま日傘　鹿島トイ

枝葉張りみどりの褪せぬ其の透き
にポキンと折れむ如く消えたし　小林信

夫逝きて早も三年歳月の過ぐる
は早し夢の問のごと　小林くに



寿通信

第51号

楽しかった移動教室

善久東　横木　美芳

入会希望者は社会教育課へ
☎377−3101　内線223

七月十八日、私達の寿学級の移動学習を祝うが如く、長く降り続いた雨も晴れあがり、青空でこの日を迎えることができました。

以前から[illegible]近くを通る[illegible]の上に、赤帽子をかぶ[illegible]トギの国の家や、大観覧[illegible]る家や、大[illegible]見ながら、一[illegible]と思っていま[illegible]会もなく、この[illegible]に参加致しました。

山の上の赤、[illegible]メルヘントレイ[illegible]馬車の如き電[illegible]しながら、緑の[illegible]り抜け、さわや[illegible]ほをなでて過ぎ[illegible]頂上に到着して[illegible]ると、廻りは全[illegible]四方を見渡せる[illegible]だったのです。空[illegible]の町中は勿論、観覧車、乗り物等一望でき、あれに乗ってみたい、これにしようかと、子供にかえって見物し下山しました。

下山して早速乗り物を選び、スカイジェットに乗りました。見た目よりこわさがあり、カーブの時は人間が落ちそうで、しっかり足をふんばり肩に力が入りました。キャーキャーワアワア、この時とばかりに大きな声を出してストレスの発散をしました。

次は何にしようかと、皆で選んでいる時、アイランドの従業員の方が、ドイツから五千万で輸入したメリーゴーランドが新しく入ったばかりだと言われたので早速乗りました。今度は、こわくなく飾りをいっぱいつけた馬にまたがり、手綱をとると、ゆっくりと上下しながら廻りだしました。うっとりする様な曲が鳴いだし、しばしの夢心地でありました。

昼は、バーベキューで舌鼓をうち満腹でした。

[illegible]ガーデンの美しい[illegible]こともない珍しい[illegible]蝶になってガー[illegible]飛び舞ってみたいと[illegible]ました。熱帯の果物の木も沢山あり、それぞれ、実をつけていました。バナナが木についているのは、はじめてでした。私の想像と反対で、上に向いていました。バ[illegible]ついて立派な学習がで[illegible]

蘇[illegible]の「三度栗」は聞いて[illegible]ませんでした。見たことはありませんでした。道路から少し奥に入った所に囲われて、ひっそりと青々と繁っていました。この先何時までも名所として、生きつづけるように元気でいて下さいと祈って帰路につきました。

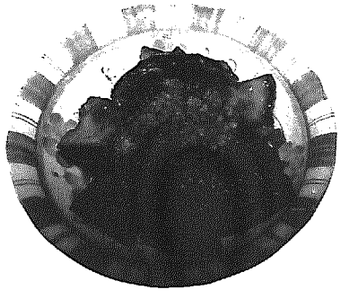
とっても楽しい学習の一日でした。

食郷土料理

―食生活改善推進委員会―

かぼちゃとなすの揚げ煮

みんなに好まれるこの料理はお進めです。



●エネルギー　214kcal
●塩分　1.8ｇ
●たんぱく質　5.6ｇ
●カルシウム　32mg

材料４人分

かぼちゃ……240ｇ
なす……200ｇ
片栗粉……適量
サラダ油……大さじ$2\frac{1}{2}$
鶏ひき肉……50ｇ
A
しょうが汁……小さじ2
みそ……大さじ1
さとう……大さじ1
酒……大さじ1/2
みりん……大さじ1/2
しょうゆ……小さじ1
B
だし汁……カップ$1\frac{1}{3}$
しょうゆ……大さじ1
さとう……大さじ2
みりん……小さじ2

作り方

① かぼちゃは3センチの角切り、なすは4等分に切り、片栗粉をまぶし油で揚げる。
② 鍋にAの調味料、ひき肉を火にかけ、そぼろをつくる。
③ 別鍋にBを煮立てて、①を入れて煮る。
④ ③にそぼろをかける。

わが家の愛♪ドル

１歳以上、３歳以下のお子さんを紹介するコーナーです。掲載を希望される方は、写真と氏名（フリガナも）・生年月日・性別・ご両親の名前・住所（自治会名も）・電話番号・コメント（50字程度）を添えて企画商工課広報統計係へ。

マルコメ頭がすっかり定着した、わが家の"社長"は、最近やっとハイハイができるようになりました。あんよまでは、まだまだかな？

野上 稜太（りょうた）くん
Ｈ8．8．7生
父　信
母　由起子
（善久東）